

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀の依頼の8割はお別れの会である。故人が好きだった物は、業者よりも当事者が良く分かっているということで、花や写真を自分、家族で用意する人が増えてきている。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスも少し落ち着きをみせ、季節が春に向かって、客の動きが少しずつ出てきているように感じている。
	○	百貨店（営業担当）	単価の動き	・全体ではさほど変わらないと思うが、富裕層の購買が増えているのか、高額商材が売れている。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・人の動きが活発になり、来客数が10%以上伸びて、やや上向いている。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染が拡大し、県独自の警戒レベルが5になって、外出自粛要請が出て以来、客足が減っている。1～2月に警戒レベルが1になっても、客足は僅かしか戻っていない。それでも自粛期間中よりは少しずつ戻りつつあり、歓送迎会シーズンには多少の期待を持ってそうである。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・年末年始を除いた1月の宿泊平均稼働率は20%だったが、今月は35%に伸びてきている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・スキー場の入込や飲食で、やや回復傾向がみられるものの、夜の飲食業、特に、宴会需要はほとんど戻っていない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・補助金事業関係も終わり、商材の動きも目に見えて悪くなってきている。人の移動の多い3月を前に、人や商材の動きが見えてこない。必要な物だけを必要に迫られて購入するパターンに戻ってきてしまっている。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比5%減、来客数は同14%減である。前年は3月20日までは近隣施設のイベントも何とか実施の方向で動いていたが、実際は練習のみで本番は中止になり、以降、現在まで大きなイベントは全くない。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、早く収束してもらいたい。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が前年よりやや伸び悩み下回っているため、売上も多少悪い。
	□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・地域的な問題だと思うが、新型コロナウイルスの感染者数も大分落ち着いてきているのに、今までの傾向がほとんど変わっていない。これまでどおりの新型コロナウイルス対応の生活に落ち着いているような状況が続いている。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・休日も商店街の人通りは少ない。リモートワークなどの影響も多少あつてか、スーツ購入の見送りもあるようである。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・今年は降雪や新型コロナウイルスの影響もあり、来客数が減少している。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染の終息が見えず、新車販売が停滞している。また、半導体不足と先日の地震の影響で新車の生産が止まったことも、販売減の要因となっている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検及び一般整備は前年同月に比べ、若干ではあるが売上増となっている。本来なら、今ごろは4月から新社会人になる若者の車両購入関係の問合せがあるが、今年は極端に少ない。新型コロナウイルスの影響かと思われる。
□	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・2月は本当にひどい。月後半になって土日は少し動くようになったが、アップダウンが激しく、一進一退である。良くなるか悪くなるか本当に分からず、総括するとほとんどということだが、悪くなる懸念もたくさんある。	
□	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・来客数は若干多いようだが、売上は単価が低いせいか、横並びで変わらない。	

□	スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会が1件もない。会食を自粛するようにとコメントを出すなら、全国規模で営業補償をして欲しないと困る。閉店する店舗が増えてきているが、当たり前である。
□	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・12月のGo To Travelキャンペーンの一時停止と緊急事態宣言の延長により、客の流れが止まっている。また、この延長に伴って自治体による支援事業も一旦停止となっているため、企業の出張も含め、受付が皆無となっている。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染の終息が見えないなか、新規加入は低調である。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・新生活シーズンに向けた新規の問合せは徐々に増えてきているものの、動向としては例年より落ち着いている。
□	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・冬季降雪クローズ中のため判断しかねるが、予約状況は例年並みとなっている。
□	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・社員1人1人が抱える物件数は増えている。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍も1年が経ち、前年と比べると来客数、単価共に下がってきている。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は減少傾向であるものの客単価が好調なため、何とか売上を維持している。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍で、やや悪くなっている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年と比べて大幅に下がっているが、天候等の影響も大きい。
▲	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・当社は観光地内にあるが、首都圏の緊急事態宣言の延長などから、当地への入込客が減少している。
×	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍が始まって1年がたったが、人出が全くなく街が死んだような状態が続き、結果として売上は下がったままである。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・引き続き、主要都市圏の緊急事態宣言が発出中で、駅前立地の商店街は人出が少ない。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・売上や商店街への来客数が、ますます少なくなっている。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、客や競争相手の様子をも、新型コロナウイルスで困っている。その割には、競争相手の店が、徐々にまた増えたりしているの、本当はどうなっているのか状況が分からない。
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・11月まではGo To事業の効果で、団体客は全くいなかったがインターネット経由のカップルや家族客の予約が多く入っていた。個人客なので1部屋に入る人数が少なく、入込は満室でも例年の75%程度にしかならなかった。しかし、Go To事業のお陰で、週末2名の高額な宿泊でも値下げをせずに販売できたため、売上は例年並みとなっていた。その後、Go To事業が止まり、緊急事態宣言が発出され、マスコミも大騒ぎしたため、1～2月は実質休業となってしまっている。売上は、この3か月で100%の状態から0%まで落ちている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の継続やGo Toキャンペーン停止により、人の動きが非常に悪くなっている。3か月前はGo Toキャンペーンの恩恵を大きく受けていたので、その分、落ち幅が大きい。緊急事態宣言の対象地域ではないものの、県民性なのか、全く人の動きがなく、団体利用はほぼゼロで、さらに夜の動きは少人数でもほとんどない。
×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の11月はGo To Travelキャンペーンが絶頂期で、プチバブルのような景気だった。11月と比べると、2月の売上は4割減となっている。
×	遊園地（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の延長やGo To事業の一時停止の影響が依然として続き、来園者数は落ち込んでいる。
×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出中で、相変わらず団体やグループの利用はない。新型コロナウイルスのワクチン接種も段階的に開始されたが、一般接種はまだまだ先のため、厳しい状況はしばらく続く。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年と比べればまだ少ないものの、3か月前と比べれば仕事量は増えている。
	□	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・取引先で平日の客がゼロや1人という日もあり、当社も全く納品できていない。客が入らないので、全体の売上も落ちている。
	□	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、緊急事態宣言の影響で、他県からの来場者は激減している。飲食業界からの引き合いも少なく、苦しい状況が続いている。
	□	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上未達の状態が続いており、市況の数字も元気がない。今月もご多分に漏れず、同じ状況が続くとみている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注が全くなくなっている。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業の景況感は下げ止まっているが、製造業と非製造業の間で格差が拡大しており、低水準の改善となっている。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、降雪もあり仕事量が少ない時期ではある。今年も仕事は少なく、地域経済に活気はなく停滞気味である。
	▲	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・首都圏を中心に、再度の緊急事態宣言が発出されたこともあり、県外からの観光客は更に減少している。飲食店も時短営業を余儀なくされているため、経営が厳しい状況が続いている。
×	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・2月は東京、名古屋、大阪を中心とした都市部のデパートや小売店では、緊急事態宣言継続の影響を受け、来客は減少したまま戻っていない。積極的な顧客の勧誘を控えたり、催事開催を延期せざるを得ず、売上は大幅に減少している。	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、飲食、宿泊関連、土木、建築、設備関係には余り改善がみられないものの、製造業の一部では求人活動が活発になっている感触がある。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の最悪な状態は抜けた感があり、雇用調整弁である派遣求人も増えてきたため、やや良くなっている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス禍で、企業内の人事は、社員の60歳再雇用制度や4月の定期異動も合わせ、派遣社員数が見直され、更新しないケースが増えている。新規採用活動もしているものの、採用のない状況が続いている。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・正社員採用が拡大せず、有期雇用の契約社員やパート、アルバイト、派遣の募集が増えている。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・Go To Travelキャンペーン事業の一時停止や緊急事態宣言の再発出の影響が、飲食や宿泊業等と関連企業に波及してきている。土産物製造や遊戯用機械器具製造、飲食店向け食材卸などが、再び落ちてきている。
	×	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人数の減少に下げ止まり感がある。従来から求人をしている企業の募集広告が多く、新規企業の求人募集広告は余りない。